

# 2019年9月期第2四半期決算説明会

---

2019年5月17日

**SPRIX**

**株式会社 スプリックス**

(東証1部 7030)

## <資料取扱い上のご注意>

このプレゼンテーションで述べられている株式会社スプリックスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものです。

マクロ経済や当社の関連する業界の動向等によっては、大きく変化する可能性があります。

従いまして、実際の業績等が本プレゼンテーションと異なるリスクや不確実性がありますことをご了承下さい。また、大きな変更がある場合は、その都度発表していく所存です。

お問い合わせ先

株式会社スプリックス  
管理部

**TEL:03-5927-1695**  
**<https://sprix.jp/>**

# 目次

1 会社概要	3
2 2019年9月期第2四半期決算概要	8
3 2019年9月期業績予想と取組み	14
4 森塾について	19
5 その他事業について	24
Appendix	31

# 1 会社概要

# 会社概要

- 【 社 名 】 株式会社スプリックス (SPRIX, Ltd.)
- 【 設 立 】 1997年1月
- 【 資 本 金 】 1,414百万円
- 【 事業内容 】 個別指導塾の運営、教育コンテンツの開発、ダンススクールの運営
- 【 役 員 】

代表取締役社長	常石 博之
取締役	平石 明
取締役	平井 利英
取締役常勤監査等委員	松原 克利
社外取締役監査等委員	大津 広一
社外取締役監査等委員	松浦 剛志
  
- 【 正社員数 】 387名 \*2018年9月末時点
- 【 本 社 】 新潟県長岡市大手通2-3-2
- 【 東京本社 】 東京都豊島区西池袋1-11-1

# 代表者紹介

つねいし ひろゆき

代表取締役社長 **常石 博之**

2018年12月26日付で就任いたしました。

## 略 歴

- |          |                          |
|----------|--------------------------|
| 1994年 4月 | 株式会社三菱銀行(現株式会社三菱UFJ銀行)入行 |
| 2004年 3月 | 当社取締役就任                  |
| 2007年12月 | 当社取締役副社長就任               |
| 2018年12月 | 当社代表取締役社長就任              |



## MISSION

「教育」を通して、  
世界中の人に「人生の新たなステージ(春)」を届けること。

## VISION

「教育IT」で世界No.1企業になること。

# 事業概要

スプリックスは日本最大規模の個別指導事業を中心に  
ITを駆使した教育コンテンツ事業、社会人対象の生涯教育事業も持つ  
総合教育企業です。



※売上構成比は2018年9月期実績



## **2** 2019年9月期第2四半期決算概要

## 業 績

- 前年同期比増収増益。  
売上高 : 5,913百万円(前年同期比 +13.2%)  
営業利益: 1,561百万円(前年同期比 +3.8%)

## トピックス

- 「森塾」を2019年3月に直営教室として新たに9教室開校。
  - ▶ 第2四半期末時点で直営97教室を展開
  - ▶ 直営在籍生徒数23,659人(前年同期比 +1,921人)
- 「自立学習RED」を第2四半期末時点でFC65教室展開(前年同期比 +23教室)。
- 新年度に向けた新規集客のため、Webプロモーションを中心とした広告宣伝活動を積極的に実施。
- 採用活動を積極的に実施。
- 研究開発活動を積極的に実施。

# 2019年9月期第2四半期 損益状況(対前年同期)

## 増収増益を達成。

	2018年9月期第2Q 実績		2019年9月期第2Q 実績				
	金額 (百万円)	売上高比	金額 (百万円)	売上高比	増減 額(百万円)	率	主な増減要因
売上高	5,225	—	5,913	—	+688	+13.2 %	「森塾」直営教室開校による生徒数増加
売上原価	2,782	53.3 %	3,138	53.1 %	+355	+12.8 %	売上高増加に伴う変動費の増加
売上総利益	2,442	46.7 %	2,774	46.9 %	+332	+13.6 %	
販管費	937	17.9 %	1,213	20.5 %	+275	+29.4 %	広告費・採用費の増加
営業利益	1,504	28.8 %	1,561	26.4 %	+56	+3.8 %	
経常利益	1,500	28.7 %	1,562	26.4 %	+62	+4.2 %	
純利益	974	18.7 %	1,026	17.4 %	+51	+5.3 %	

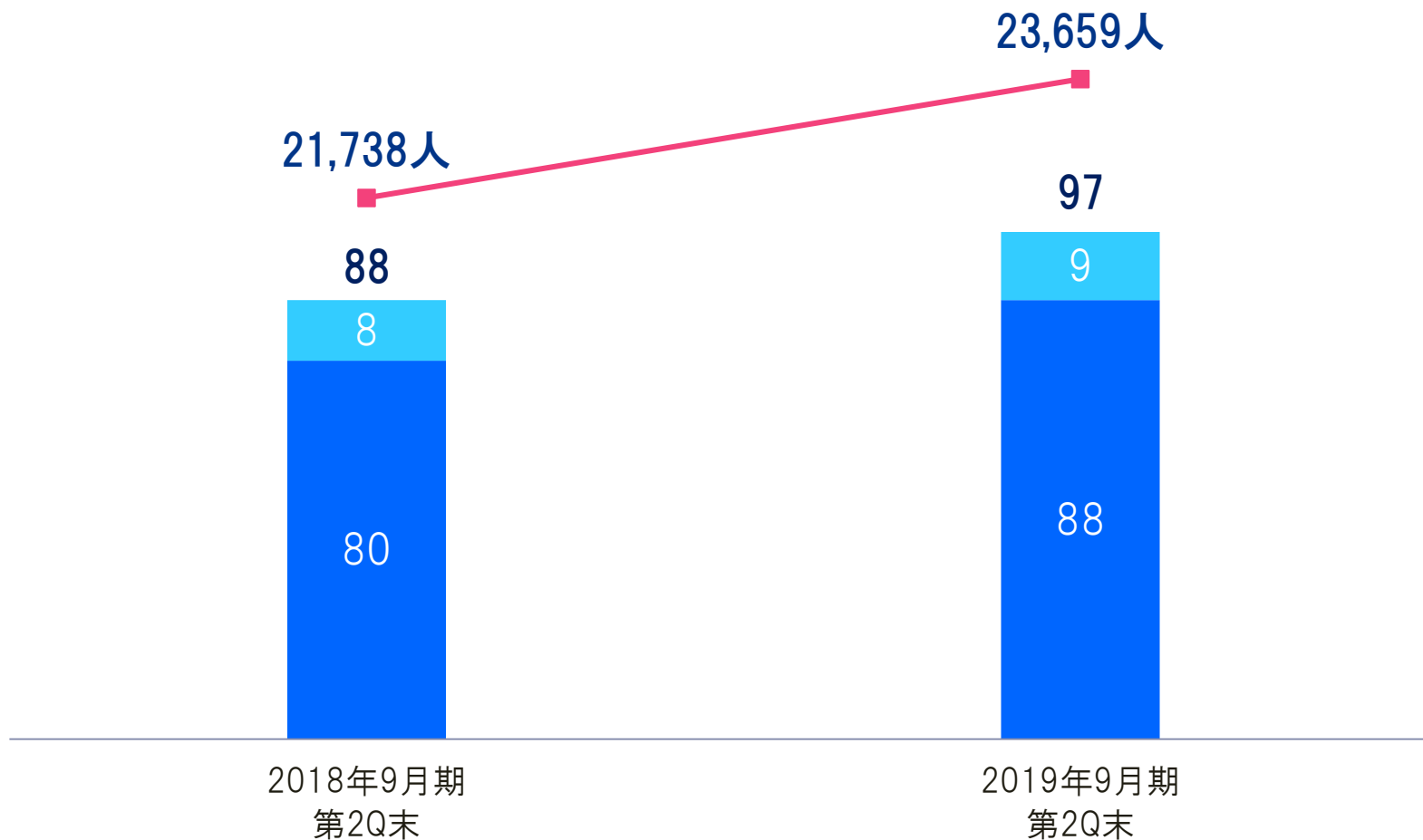
# 2019年9月期第2四半期 損益状況(対予想)

概ね計画通り推移。

	2019年9月期第2Q 予想		2019年9月期第2Q 実績				
	金額 (百万円)	売上高比	金額 (百万円)	売上高比	対予想比		主な増減要因
					額(百万円)	率	
売上高	5,840	—	5,913	—	+72	+1. <sup>2</sup> %	「森塾」直営教室を計画通り開校
営業利益	1,404	24. <sup>0</sup> %	1,561	26. <sup>4</sup> %	+157	+11. <sup>2</sup> %	人件費、研究開発費の未消化
経常利益	1,403	24. <sup>0</sup> %	1,562	26. <sup>4</sup> %	+158	+11. <sup>3</sup> %	
純利益	905	15. <sup>5</sup> %	1,026	17. <sup>4</sup> %	+120	+13. <sup>3</sup> %	

# 森塾(直営)の教室数と生徒数の推移

■ 期首教室数   ■ 新規開校数   ■ 生徒数



# 2019年9月期第2四半期 財務状況/キャッシュ・フロー状況

	2018年9月期末		2019年9月期第2Q末			
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減 (百万円)	主な増減要因 (金額は百万円)
流動資産	8,587	86. <sup>2</sup> %	8,719	83. <sup>8</sup> %	+132	売掛金 +220
固定資産	1,380	13. <sup>8</sup> %	1,682	16. <sup>2</sup> %	+302	投資その他 +244
資産合計	9,967	100. <sup>0</sup> %	10,402	100. <sup>0</sup> %	+434	
流動負債	3,099	31. <sup>1</sup> %	2,812	27. <sup>0</sup> %	△286	前受金 △262
固定負債	399	4. <sup>0</sup> %	437	4. <sup>2</sup> %	+37	
負債合計	3,498	35. <sup>1</sup> %	3,249	31. <sup>2</sup> %	△248	
純資産合計	6,469	64. <sup>9</sup> %	7,152	68. <sup>8</sup> %	+683	利益剰余金 +683
負債・純資産合計	9,967	100. <sup>0</sup> %	10,402	100. <sup>0</sup> %	+434	

	2018年9月期第2Q	2019年9月期第2Q	
	(百万円)	(百万円)	主な要因(金額は百万円)
営業キャッシュ・フロー	+1,224	+481	税前純利益 +1,562、法人税等の支払△797
投資キャッシュ・フロー	△80	△296	投資有価証券の取得△101、有形固定資産の取得△69
財務キャッシュ・フロー	△260	△342	配当金の支払い△342
現金及び現金同等物 増減額	+883	△158	
現金及び現金同等物 期末残高	3,091	6,667	

## **3** 2019年9月期業績予想と取組み

# 2019年9月期 業績予想

業績予想を据え置き。

	2018年9月期 実績		2019年9月期 業績予想			
	金額 (百万円)	売上高比	金額 (百万円)	売上高比	増減	
					額(百万円)	率
売上高	10,451	—	11,401	—	+950	+9.1 %
営業利益	2,467	23.6 %	2,474	21.7 %	+7	+0.3 %
経常利益	2,423	23.2 %	2,473	21.7 %	+50	+2.1 %
当期純利益	1,566	15.0 %	1,595	14.9 %	+29	+1.9 %
EPS(円)	97.06	—	93.14	—	△3.92	—
DPS(円)	35.00 内、記念配当5.00	配当性向 36.1 %	30.00	配当性向 32.2 %	据え置き *普通配当比較	—



## 学習塾

- 「森塾」の足元生徒数がやや軟調(計画比△3%程度)。
  - ▶ 1学期(4月-7月)はこの傾向が継続。
  - ▶ 春期講習の入塾者数が、既存教室・新教室ともに、計画を下回ったため。
  - ▶ 夏期講習(8月)での挽回に向け、必要に応じて広告宣伝を積み増す可能性あり。
- 「自立学習RED」は計画通り推移。

## 教育関連

- 「教育関連サービス」は全般的に計画通り推移。

## 費用関連

- 採用活動の遅れによる人件費未消化が発生するも、継続して積極的な採用活動を実施。
- 上半期に引き続き、積極的な研究開発活動を実施。

# 株主還元

配当性向30%を目処として安定的に配当実施。  
中間配当あり。

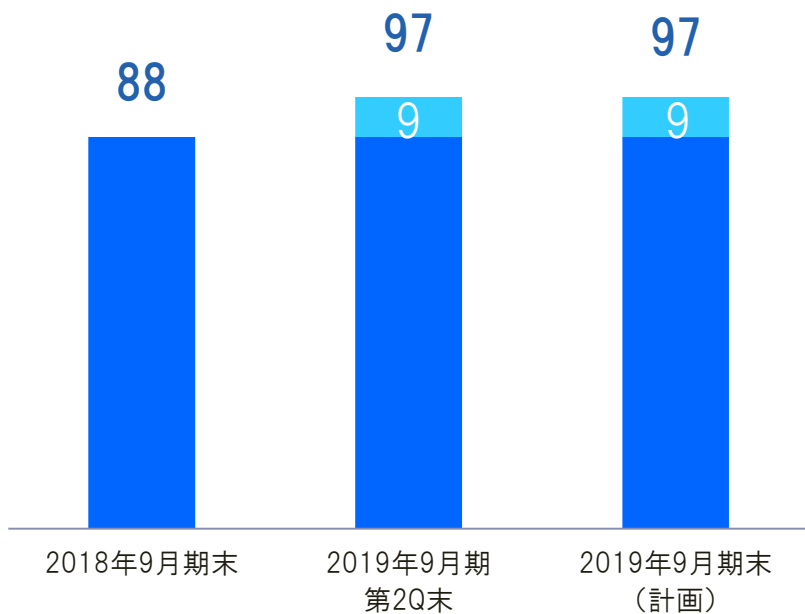
	第2四半期末	期末	合計	配当性向
2018年9月期	15円	20円 ※	35円 ※	36.1%
2019年9月期	15円	15円(予想)	30円(予想)	32.2%(予想)

※ 上場記念配当 5円を含む

# 教室開校状況



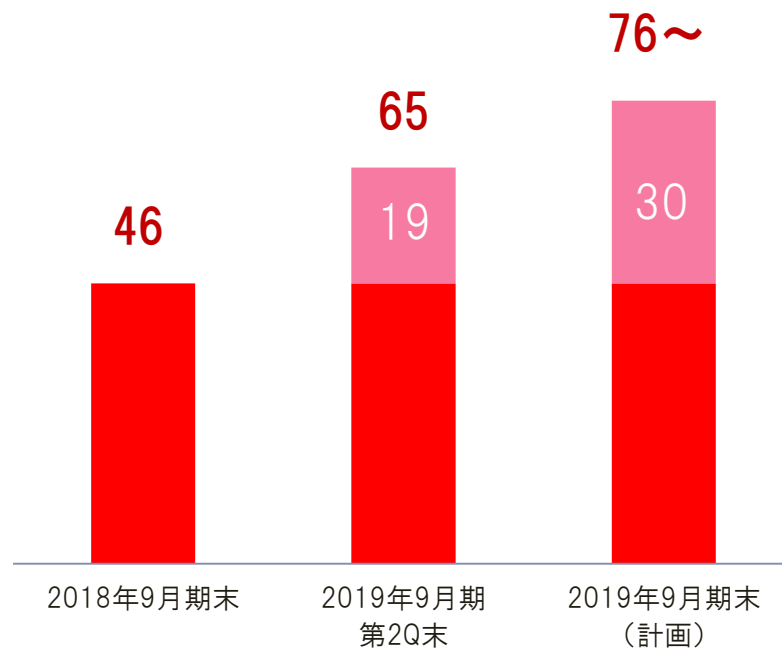
## 直営教室数の推移



2019年3月に**9教室**を開校  
通期計画を達成



## FC教室数の推移



第2四半期末時点で**65教室**を展開  
通期で30教室以上を開校予定

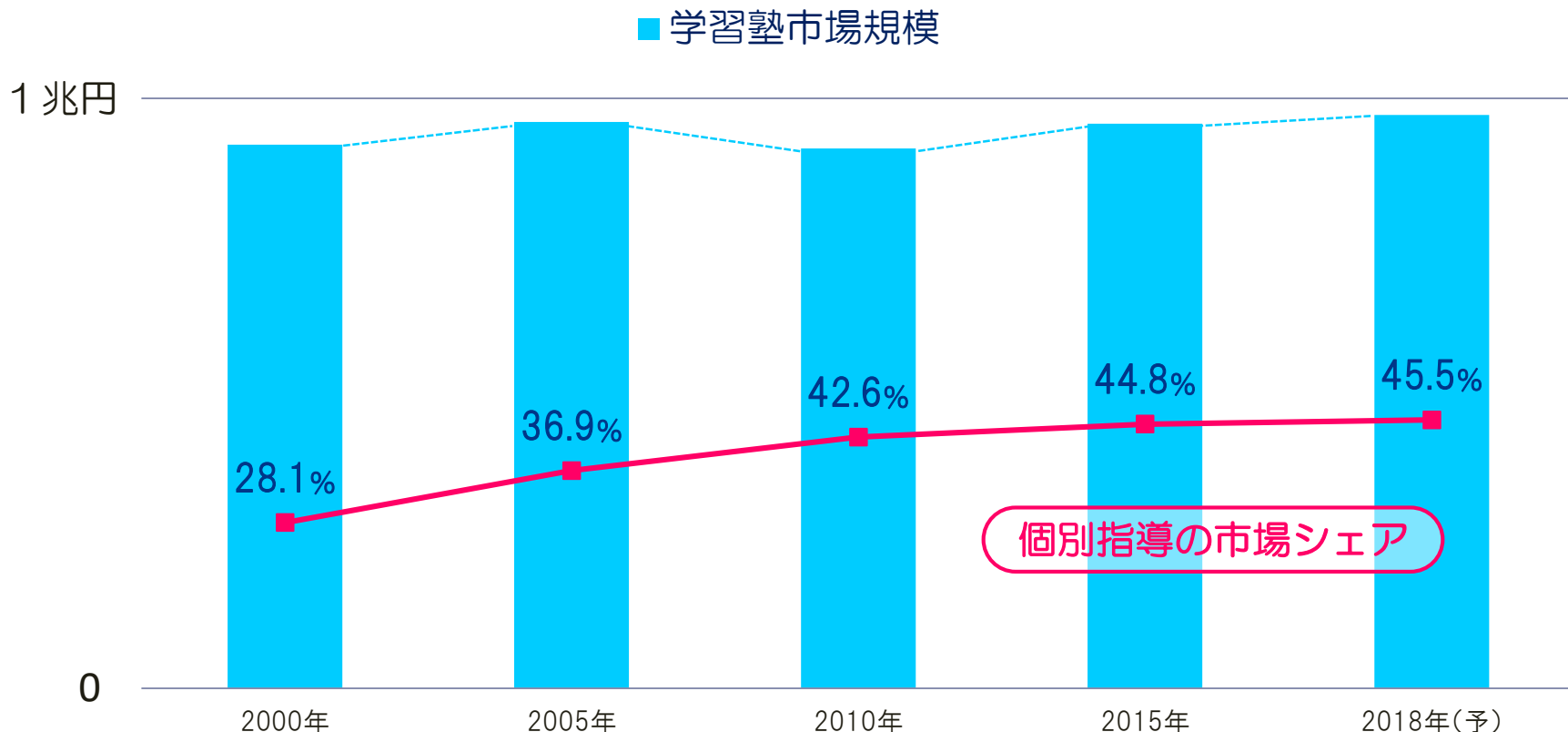
## 4 森塾について



- ▶ 先生1人に生徒2人までの個別指導型の学習塾
- ▶ 1校舎あたりの平均生徒数は300名以上で日本最大規模
- ▶ 第2四半期末において、直営で97教室、FCで42教室を展開
- ▶ 定期テストで「1科目20点以上成績が上がることを保証する「成績保証制度」
- ▶ ITを活用し、成績の上がる仕組みと効率的な運営を実現

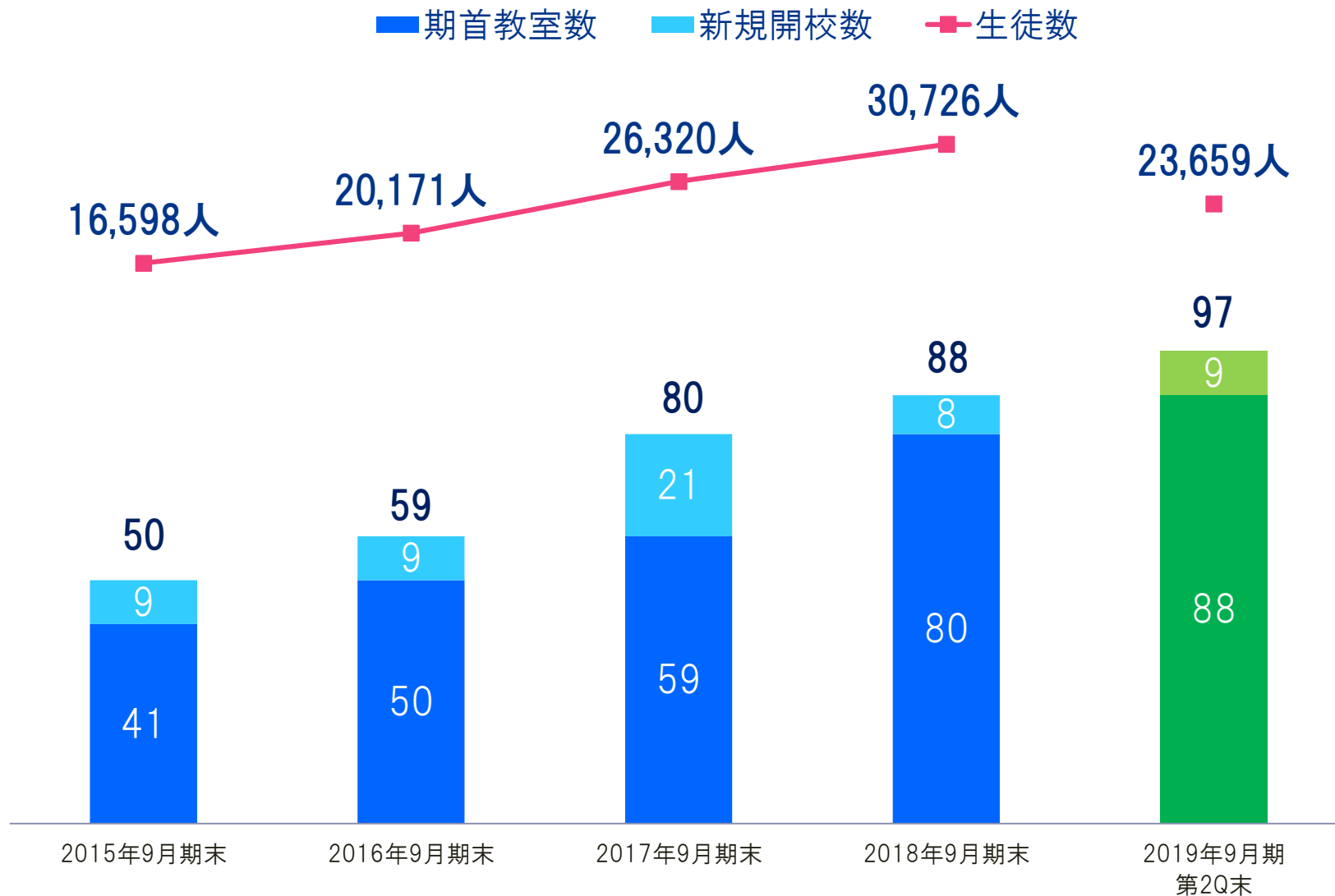
# 学習塾業界の市場規模推移と個別指導

少子化に関わらず、市場規模は横ばい。  
一人単価上昇により個別指導のマーケットは拡大(集団指導のマーケットは縮小)。



出所：(株) 矢野経済研究所「教育産業白書」を基に当社で作成

# 森塾(直営)の教室数と在籍生徒数の推移



# 森塾の出展余力

地域に依存しない集客力→日本全国の都市部でも地方でも展開可能。



新潟(長岡)で創業し、関東中心に展開。



## 5 その他事業について

# 自立学習RED

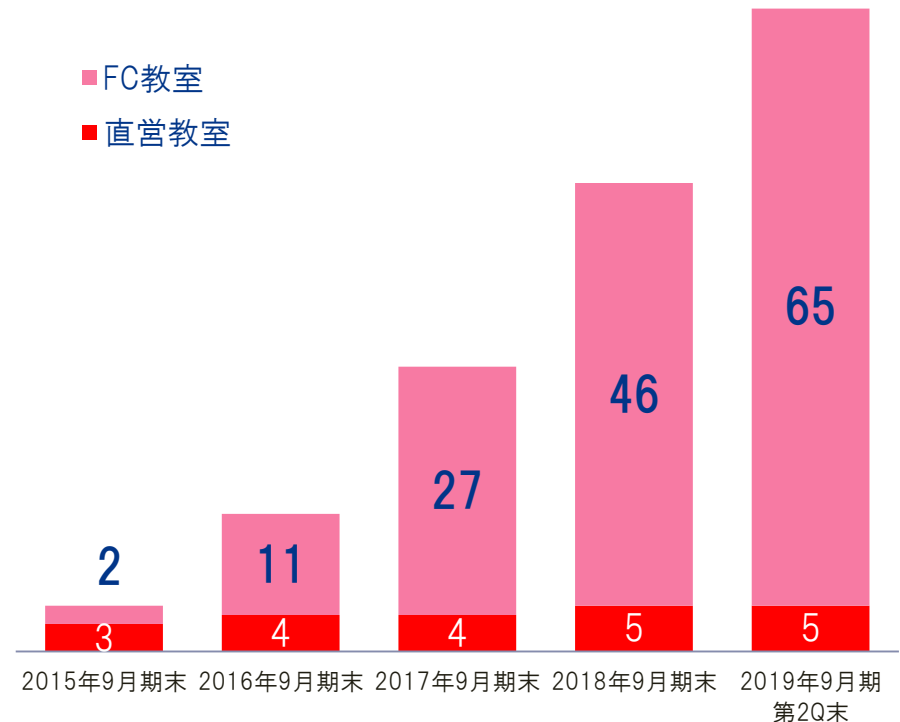
教育ITでとことん学ぶ個別学習塾

自立  
学習  
**RED**



- ▶ 教育ITコンテンツで指導するため、講師は不要。  
→ 学生講師が採用できない地方や小さな町(かなり小商圏)でも展開が可能
- ▶ FC展開のため、展開スピードが速い。
- ▶ AIを使って指導しているため、ビッグデータの蓄積で指導力が飛躍的に改善する可能性が高い。

## — 自立学習RED教室数の推移 —



## 経済産業省『「未来の教室」実証事業』の事業者として採択。

- ▶ 未来の教室は、EdTechなどを活用して課題発見・解決能力育成を両立する新たな学習プログラムの開発などを旨とする経済産業省の実証事業。
- ▶ 自立学習の個別最適化プログラム「eフォレスタ」を公教育向けに再定義し、学校教育の実態にあわせたカリキュラムおよびオペレーションのあるべき姿を構築し、公教育と民間教育の連携を実証する。



経済産業省「未来の教室」ホームページ (<https://www.learning-innovation.go.jp/>) より

# フォレスタネットとフォレスタコーチ

## 教育ITでNo.1になるための様々な教育プラットフォームへの挑戦。



### フォレスタネット

#### 学校チャンネルへの挑戦

学校の先生の長時間労働を解決。  
授業準備や教材準備が無料でできる学校の先生専用SNS。



### フォレスタコーチ

#### 「勉強したい」という気持ちをサポート

中高生の学習に対するモチベーションを喚起するアプリ。  
生徒が「自分で学習できるようになる」ための  
学習計画機能やグループ学習機能を搭載。



## フォレスト道場

- ▶ ビッグデータを活用した基礎学力育成プログラム。生徒ひとりひとりに最適なスパイラル学習を提供。
- ▶ 国語(漢字/言葉の意味)及び英語をラインナップ。計算も開発中。文科省が掲げる「学力3要素」の根幹を成す知識・技能を効率的に習得。

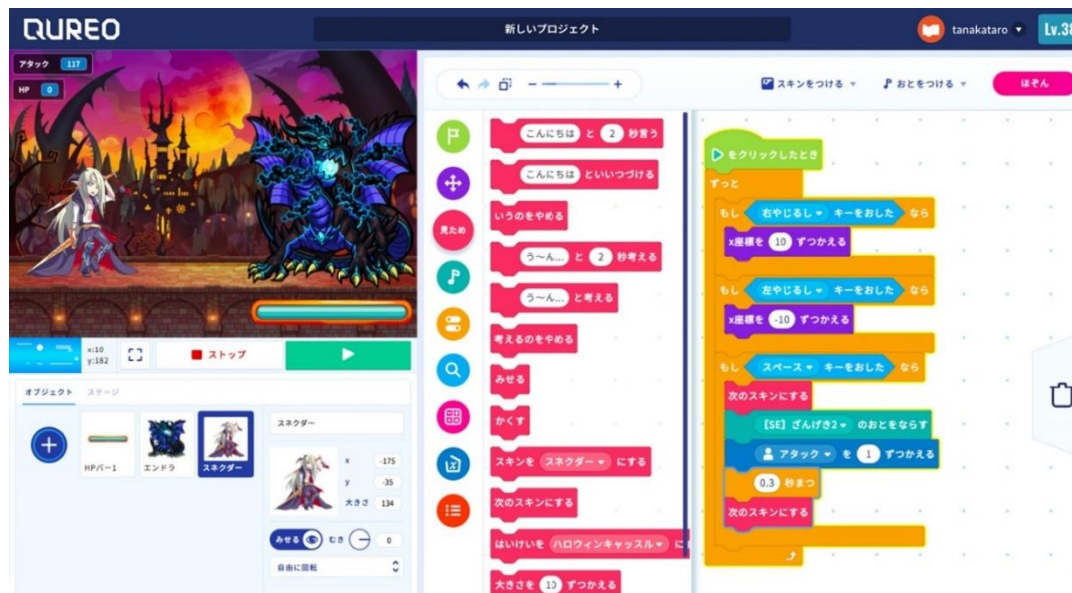




## 株式会社キュレオを株式会社CA Tech Kids<sup>※</sup>と共同設立。

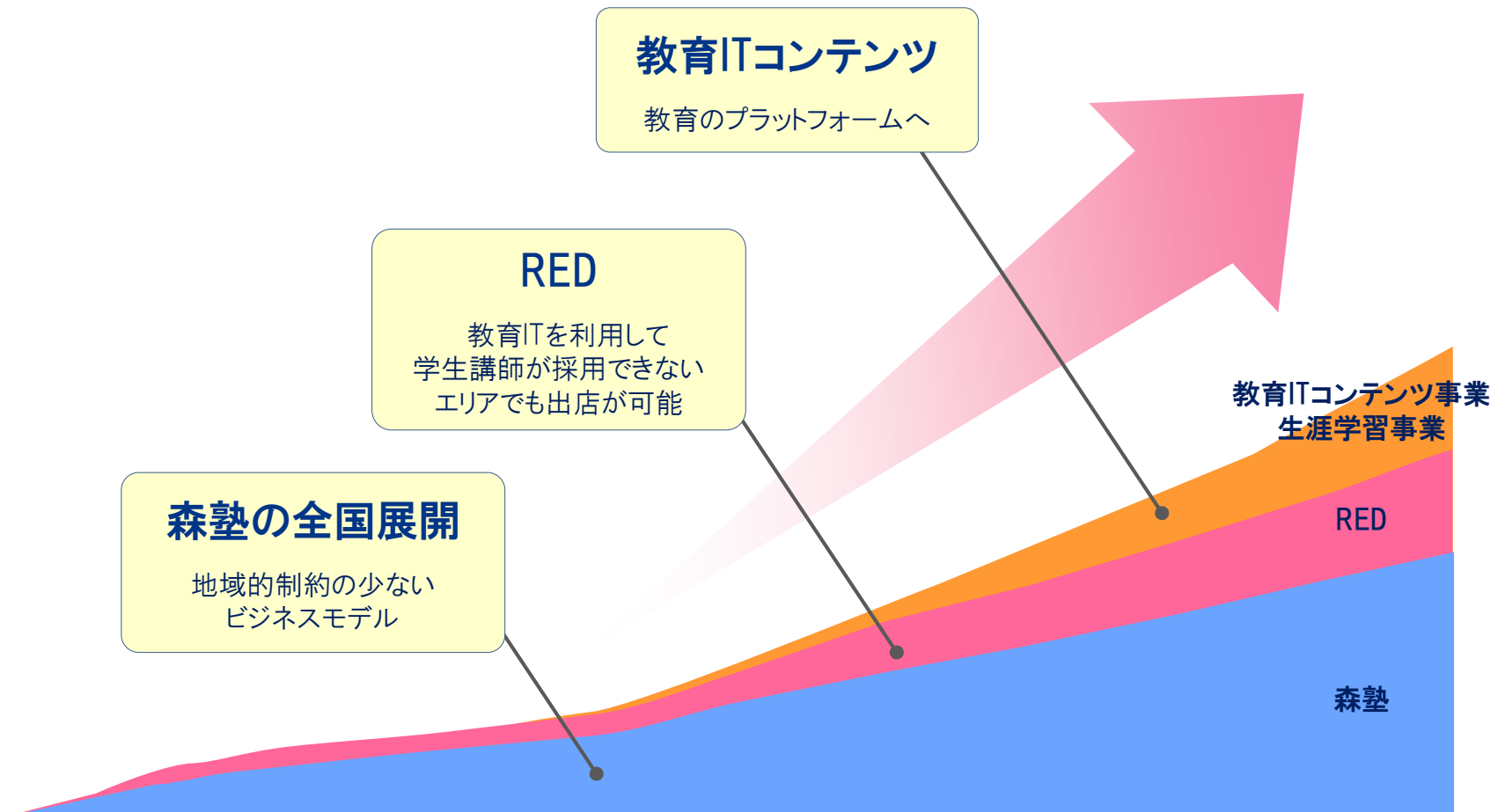
※ 株式会社サイバーエージェント（東証1部 4751）の連結子会社

- ▶ 学習塾等へのプログラミング教育支援サービスを開始。
- ▶ スプリックスはオペレーション構築と学習塾等への販売・研修支援等を行う。
- ▶ プログラミング教育は、2020年より小学校において必修化。



# 今後の成長ステップ

「教育×IT」でNo.1を目指す。



# Appendix

DATA SHEET



# DATA SHEET

		単位	2015.9	2016.9	2017.9	2018.3(2Q)	2018.9	2019.3(2Q)
業績	売上高	千円	5,832,267	7,035,473	8,504,920	5,225,090	10,451,776	5,913,588
	営業利益	千円	—	505,499	1,164,342	1,504,386	2,467,110	1,561,231
	経常利益	千円	337,437	505,337	1,165,398	1,500,168	2,423,278	1,562,594
	当期純利益	千円	184,367	232,829	854,949	974,818	1,566,498	1,026,063
資産・負債	流動資産	千円	—	2,457,843	3,791,005	4,982,499	8,587,133	8,719,346
	固定資産	千円	—	1,017,129	1,262,749	1,330,911	1,380,251	1,682,974
	資産合計	千円	2,933,728	3,474,972	5,053,755	6,313,411	9,967,384	10,402,321
	流動負債	千円	—	1,425,095	2,097,318	2,609,762	3,099,047	2,812,971
	固定負債	千円	—	263,466	361,683	390,415	399,126	437,005
	負債合計	千円	1,343,074	1,688,562	2,459,001	3,000,178	3,498,173	3,249,976
	純資産合計	千円	1,590,654	1,786,410	2,594,753	3,313,233	6,469,210	7,152,344
キャッシュ・フロー	営業キャッシュ・フロー	千円	—	—	1,340,595	1,224,625	2,499,904	481,128
	投資キャッシュ・フロー	千円	—	—	△320,403	△80,326	△145,923	△296,785
	財務キャッシュ・フロー	千円	—	—	△47,356	△260,997	2,263,676	△342,770
	現金及び現金同等物の期末残高	千円	—	—	2,207,901	3,091,203	6,825,559	6,667,132

SPRIX